

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文字と音を結び付け、身近な単語を平仮名や片仮名で書くこと。 自分の考えや思いを他者に伝えること。 適切な声の大きさとスピードで音読をすること。 物語を読み、話の内容や登場人物を理解し、楽しむこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な単語について、手拍子をしながら読み、音韻認識を高める。その後、なぞり書き、視写、見本なしとスモールステップで取り組ませる。 発表の型を提示し、繰り返し発表練習に取り組ませる。小集団での児童の関わり合いの時間を設ける。 周りの人から評価してもらえるよう授業で音読を発表する時間を設ける。また、家庭学習等で音読に取り組ませる。 物語の登場人物になりきって動作化させたり、実際に制作したりしながら、話の内容の大体を理解させる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人々、社会、自然に興味をもち、関わろうとすること。 活動に見通しをもち、主体的に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の栽培や動物の飼育、町探検など、実際に見たり触れたりできる体験的な活動を日常的に十分に設ける。また、教師が身近な人々やもの、動植物の良さを伝え、興味・関心を高める。 活動内容を視覚的教材を用いながら事前に説明し、児童の実態に応じたためあてを提示することで見通しをもたせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 20までの数字と数量を一致させること。 時刻（5分単位）を理解し、時計を読むことができる。 足し算、引き算の仕方を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 「10といくつ」の捉え方を理解し、視覚や聴覚、触覚で数字と数量を一致させる活動を繰り返し行う。 日常と結び付けながら、時計を読む機会を十分に設ける。また、ゲーム形式で問題を解かせ、意欲を高める。 ブロックやおはじきを操作させながら、足し算・引き算の概念を習得させる。その後、児童の実態に応じたプリントを用意し、繰り返し計算問題に取り組ませる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> きまりを理解して活動すること。 友達と協力しながら運動すること。 運動の仕方を習得し、体力をつけること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のきまりを、事前に絵や動画を用いて説明したり、支援教室で練習させたりする。 友達と協力できる場面を教員が意図的に設定する。 スモールステップで課題を設定し、体を動かす楽しさを実感させる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもつこと。 登場人物や他者の気持ちを理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えに近いものを選んだり、知っている言葉で伝えたりする場面を意図的に設定する。 人形劇やペープサートを用いて話の内容を理解させる。また、表情カードを用いて、気持ちを考えさせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で楽しく歌を歌うこと。 楽器の演奏の仕方を知り、音楽を楽しむこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員と一緒に歌い、自信をつけさせる。 鍵盤やバチの持つ箇所にシールを貼ったり、音階を平仮名で書いたりするなどの視覚的支援を行う。
図工	<ul style="list-style-type: none"> イメージをもち、見通しを立てながら進んで自分の力で作品づくりをすること。 道具を適切に扱い、準備や片付けを行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に見本を作成したり、選択肢を示したりすることで完成のイメージを持たせる。また、児童に質問をし、話し合いながら作りたいもののアイデアを引き出していく。 道具の安全な使い方や置き方、準備や片付けの方法を写真や絵で見せながら活動を行う。
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級において、友達とたくさん関わり、協力すること。 時間を守って行動すること。 何事にも興味をもって行動し、楽しんで活動すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と適切な関わり方ができるよう教員が見守り、必要に応じて適宜声をかける等の支援を行い、交流の場を意図的に設定する。 一日の流れや授業の開始時刻、終了時刻を視覚化して見通しをもたせる。 掲示物や教材に仕掛けを施したり遊び感覚でできるような工夫をしたりして、児童が楽しんで学習できるようにする。